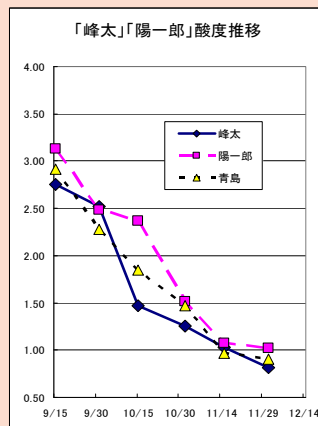
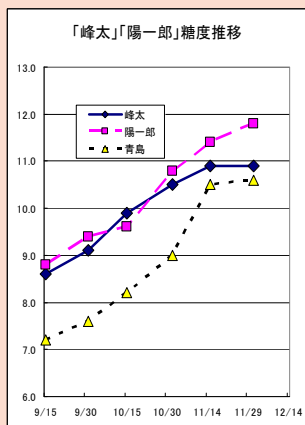


- 本県の主力品種である青島温州は、**温暖化**等の影響で、着色不良や**浮き皮**、秋季の温暖多雨により果実品質の低下が問題となっている。
- 当県で発見された新品種の特性を確認するため、**実証ほを設置**。
- 新品種の特性を周知するため、実証ほの巡回や研修会、栽培講習会を**普及員、JA職員を対象**に行った。
- その結果、新品種の特性、形質が理解され、**栽培面積が増加**。

具体的な成果

1 品種特性の確認



2 品種特性の周知

■品種の普及拡大を推進するため、実証ほの巡回、研修会を開催し、新品種の特性が理解された。



現地巡回 3回、研修会2回、講習会1回

3 栽培面積の拡大

■新品種の栽培面積 (ha)

| 品 種 | H26  | H27  | H28  |
|-----|------|------|------|
| 峰 太 | 14.5 | 31.5 | 31.5 |
| 陽一郎 | 2.3  | 3.0  | 3.0  |
| 合 計 | 16.8 | 33.5 | 33.5 |

普及指導員の活動

平成26～28年

- 優良品種推進協議会が発足。
- 実証ほ設置、調査・データ集積。
- 浮き皮の発生が少なく、品質、形質の優位性を確認**。

平成27～28年

- 新品種の普及員等による巡回・調査を行い、品種特性の周知を図った。
- 管理技術の研修会の開催し、**管理技術を習得**させた。

平成29年

- 各地域で**生産者を対象に新品種の特性を周知**、普及指導員が新品種の栽培を推進。

今後の課題

- 苗木の生産、供給体制の検討
- 新品種のブランド化**の検討

普及指導員だからできたこと

・実証ほを設置し、調査、巡回を行うことで、品種の特性が理解されやすく、生産者への情報伝達がスムーズに行えた。

・**普及指導員が品種の特性を理解し、管理技術を習得してから生産者へ栽培拡大の推進を図ったことで、生産者への対応が迅速に行えた。**